

くわな市議会だより

平成24年9月定例会号

第3号

発行日 平成24年11月15日



「なばな発祥の地」

と呼ばれている長島町は、なばなの産地で有名です。

ナバナ(菜花)は、江戸時代までは種子からタネ油をとるためだけに栽培されていた。独特のほろ苦さと香りを持つ緑の花蕾^{からい}を食用として利用されるようになったのは、明治時代に入ってからです。

栄養価が高く、ビタミンA(カロテン)、ビタミンCやカルシウムなどを多く含む冬場の緑黄色野菜として人気です。漬物やおひたし、あえものなどに利用できます。

目次

- | | | |
|------------------------------|--|------------------------------|
| 01 表紙 | 07 教育経済委員会の概要／
建設水道委員会の概要 | 11 一般質問 |
| 02 定例会の流れ | 08 新病院の整備等に関する特別委員会の概要／
ホームページを立ち上げました／
議会報告会を開催しました | 12 一般質問／常任委員会政策提言 |
| 03 9月定例会の概要 | 09 議案質疑／一般質問 | 13 常任委員会政策提言 |
| 04 決算特別委員会 | 10 一般質問 | 14 桑名市議会からのお知らせ／
議会活動状況報告 |
| 05 決算特別委員会 | | |
| 06 総務政策委員会の概要／
福祉安全委員会の概要 | | |

紙上体験!

平成24年9月 桑名市議会の流れ

市議会では年4回、定例会を開催します。この回数は、条例で定められています。

平成24年9月定例会では、28日間にわたり、15議案・5件の請願などを審議・審査し、事業の執行状況や成果、今後の方針等について、市長等へ説明や報告を求めました。

9月11日(火)～14日(金)

議案質疑・一般質問



上程された議案に対して質疑、市政全般について質問を行います。その質疑や質問に対し、市の執行部は、一つ一つ答弁します。

9月5日(水) 開 会

議案が上程され、市長から議案に対する提案説明・報告が行われます。



議案は常任委員会・特別委員会へ

提出された議案や請願などは、審議・審査を担当する常任委員会と特別委員会に付託されます。



9月18日(火)～21日(金)・26日(水) 常任委員会・特別委員会を開催

付託された議案や請願などについて市の執行部に質問するなど、具体的に審議・審査をした後、委員会としての意見をまとめます。

9月議会は、平成23年度の決算も議案として提出されていることから各常任委員会が決算特別委員会分科会としても審査を行います。

9月25日(火)

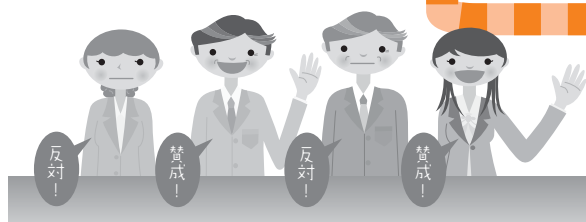
決算特別委員会全体会

4つの決算特別委員会分科会で審査した内容を分科会長から報告を受け、全体で審査します。



10月2日(火) 閉 会

常任委員会での審査結果を各委員長が報告します。その後、その報告に対して質疑を行います。議会として、議案の賛否を決定するため、討論を行った後、採決をします。



9月定例会の概要

9月5日から10月2日までの28日間の日程で開催しました。今定例会では、「平成24年度桑名市一般会計補正予算(第2号)」や「平成23年度桑名市一般会計並びに各特別会計歳入歳出決算の認定について」など15議案を審議し、いずれも可決しました。このほか、「幼稚園保育料公私間格差是正を求める請願」や「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める請願書」等請願5件と、「桑名市立伊曾島小学校悠分校・長島中学校悠分校の県立特別支援学校への移管を求める意見書」等意見書5件を採択し、「桑名市選挙管理委員会補充員の選挙について」は4名が当選されました。また、「桑名市土地開発公社の経営状況に関する書類の提出について」等、12件の報告がありました。

一般会計補正予算の主な内容

●予防接種事業費(43,000,000円)

予防接種法の改正に伴う乳幼児のポリオ新ワクチン接種に必要な経費です。

●まちづくり関連業務費(59,000,000円)

近畿日本鉄道が実施する近鉄桑名駅バリアフリー化整備事業への補助金です。

●(仮称)城南地区防災センター建設事業費(4,485,000円)

(仮称)城南地区防災センター整備のための設計にかかる経費です。



平成24年9月定例会主な表決結果

(市長提出議案15件・請願5件・意見書5件・報告12件)

区分	番号	件 名	賛成	反対	退席	欠席
市長提出議案	第73号	平成24年度桑名市一般会計補正予算(第2号)	25	2	1	1
	第76号	平成24年度桑名市地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計補正予算(第2号)	25	2	1	1
	第77号	平成23年度桑名市一般会計並びに各特別会計歳入歳出決算の認定について	24	4	0	1
	第78号	平成23年度桑名市水道事業会計決算の認定について	25	2	1	1
	第79号	平成23年度桑名市下水道事業会計決算の認定について	24	4	0	1
	第80号	桑名市職員倫理条例の制定について	20	8	0	1
	第83号	工事請負契約の締結について(蛸塚益生線道路整備工事(橋梁上部工))	25	2	1	1
	第84号	工事請負契約の締結について((仮称)陽だまりの丘複合施設建設(建築)工事)	25	2	1	1
	第85号	財産の取得について(小型水槽付消防ポンプ自動車2台)	25	2	1	1
	第86号	市道の認定及び変更について	25	2	1	1
請願	第7号	幼稚園保育料公私間格差是正を求める請願	18	9	1	1
	第8号	「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実」を求める請願書	27	1	0	1
議員提出議案	第3号	「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実」を求める意見書	27	1	0	1

※全会一致で可決された議案等は省略しています。 ※議長は採決に加わりません。

※議員別表決結果は桑名市議会ホームページをご参照ください。

決算特別委員会



決算特別委員会は、議長及び議会選出の監査委員を除く全議員で構成されたもので、4つの分科会（総務政策、福祉安全、教育経済、建設水道）を設置の上、各分科会で23年度の事業の詳細な審査を行うものです。各分科会での主な質疑は次のとおりです。

総務政策分科会

◆財政状況について

Q.市の見解は。

A.法律の規定に基づく健全化判断比率については基準を大きく下回っており、かつ、それらの数値を毎年着実に下げてきており、よい方向に向かっていると考えている。財政指標の一つである経常収支比率については、管理する施設の数が変わらない中でも、定員適正化に基づく人件費の削減などにより、現状を維持している状況である。

◆耐震補強事業費について

Q.本庁舎について、前後左右の揺れに耐えられるよう想定されていると思うが、上下の揺れについてはどのように考慮しているのか。

A.予測されている東海・東南海・南海地震の地震波と、過去に起こった地震の地震波を入力して耐震性能を確認しており、耐震の免震評定についての国土交通省の評価も受けるので、その点はクリアしているものと考えている。

福祉安全分科会

◆地域医療対策事業費について

Q.この予算で始めた医療と介護の連携に対する取り組みの進み具合や方向性は。

A.平成23年度に在宅ケア検討会を立ち上げ、他職種の方にも参集いただき、顔の見える関係づくりや医療と介護の連携についての検討を行っている。この事業は、桑名市総合医療センターの地域医療連携室が重要な部署になると思っており、しっかりと支援できる体制となるよう働きかけていきたい。

◆介護保険事業特別会計について

Q.平成23年度が3年に1度の保険料見直しの年であり、その総括は。

A.平成23年度末で3億8,281万1,000円の基金を積み立てることができ、この基金を平成24年度から26年度までの3年間の介護事業計画に算入することで、保険料の上昇を抑えることができたと考えている。

教育経済分科会

◆農林水産業振興費について

Q.多度の自然休養村管理センターのあり方に対する市の考え方は。

A.今現在、使用中の観光協会等、外部の第三者の方がみえるため、市だけでお答えすることはできないが、事業の効果を検証し評価しながら基本から事業を見直していきたい。

◆学校・園再編推進事業費について

Q.学校・園再編推進事業費の内容は。

A.就学前施設再編検討委員会委員への報償費、委員会資料作成に要する緊急雇用職員の賃金及び平成23年度4月に開校した多度青葉小学校の校旗・校章の作成費用となっている。

建設水道分科会

◆道路施設維持補修費について

Q.要望に対してどの程度補修ができたか。 A.道路施設維持工事件数は、118件で、地元要望は多く、全ては実施できないのが実情である。

◆農業集落排水事業特別会計について

Q.一般会計繰入金が1億円を超えている。また、使用料収入で維持費がまかなえていないが今後の経営の見通しは。

A.上下水道事業経営計画を策定して経営改善を進める中、料金の見直しも取り上げている。料金は下水道の料金と連動しているため、その点で見直しが見られる。

◆下水道事業会計について

Q.特別会計から企業会計に変わったことのメリットは。

A.上下水道を統合した結果、収支面では当初予算で多額の赤字が想定されていたが、決算ではかなり縮小された。これは、事業を絞ったことと、管理部門の一元化なども含めて、スケールメリットが出た結果と思っている。また、災害時に、上下水道部一体として対応ができた。

また、決算事業評価として、決算事業の中から、議員自らが評価対象事業を選定し、委員間協議を経て評価を行いました。その後、決算特別委員会において評価を決定し、本会議終了後、市長に提出しました。

●決算事業評価結果●

評価5 「拡充する」

評価4 「現状のまま継続する」

評価3 「改善・効率化し継続する」

評価2 「見直しのうえ縮小する」

評価1 「休止・廃止」

○行政評価推進事業

評価3

行政評価は必要であると考えます。しかし、評価のための評価になってはならず、目的を明確にし、より良い方法を模索していく必要がある。

○職員研修事務

評価3

職員研修を通じた人材育成は大変重要である。現状のあり方を検証し改善に努め、職員の自己啓発を支援する仕組みを整備・強化していく必要がある。

○国際化推進事業

評価3

在住外国人が安心して暮らせるサポート体制を充実し、共生に向けた取り組みは必要であると考えます。事業目標の達成には、具体的な実施内容の見直し・改善を図っていく必要がある。また、国際交流を活発にしていける事業についても、取り組むべきと考えます。

○子育て支援拠点施設事業

評価3

子育て中の親子の悩みを解消または和らげ、また、同世代のふれあいの機会を提供する観点から、効果は大きいと考えます。子育て家庭への周知徹底、NPOやボランティアの活用を指摘し、サポート体制のさらなる充実をお願いしたい。なお、関連する子育て支援拠点施設の整備は今後も計画的に進められたい。

○各種健診事業

評価3

早期発見、早期治療による、市民の健康保持と医療費の抑制双方の観点からも必要であると考えます。各種健診及び検診については、周知方法を工夫し、さらなる受診率の向上に努め、人間ドックについては、費用対効果の面も考慮し拡充を検討されたい。

○耐震診断事業

評価5

東日本大震災や南海トラフ巨大地震の被害想定により、市民の危機意識は高まっており、まさに今必要な事業であると考え、拡充と判断する。事業についての周知及びその後の相談体制の強化に積極的に努められたい。

○コミュニティバス運行事業

評価3

高齢者及び交通弱者対策として必要と考える。路線の検討等、もう少し利用者の利便性を考え乗車率を上げる検討が必要である。

○勤労青少年ホーム施設管理運営事業

評価3

若者たちの出会いの場を提供できるということは、非常に良いことである。対象年齢の拡大や市内商工団体との協力など考えて、投資効果が出るよう事業の周知等に努力する必要がある。

○学校・園再編推進事業

評価5

少子化に速やかに対処するため、留まることなく進める。

○くすのき園運動防災公園整備事業

評価4

運動公園、防災用地としての機能は重要であることから、現状のまま継続することとした。

○土地区画整備事業

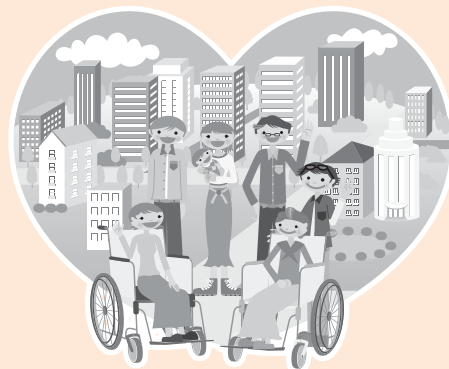
評価4

桑名駅西地区の公共施設整備、駅西口への円滑な交通確保は重要であることから、現状のまま継続することとした。

○まちづくり関連業務

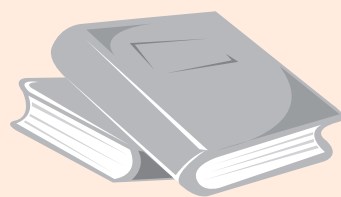
評価3

桑名駅周辺整備の必要性は認めるものの、計画の基本的な方針、事業間の連携等に見直しが必要なことから、改善・効率化し継続することとした。



■審査案件 委員会開催日：9月18日・20日〔審査件数：4件〕

- 議案第73号 平成24年度桑名市一般会計補正予算(第2号) 第1条 歳入歳出予算中
所管部門 第2条 及び 第3条
- 議案第80号 桑名市職員倫理条例の制定について
- 議案第82号 桑名市火災予防条例の一部改正について
- 議案第85号 財産の取得について(小型水槽付消防ポンプ自動車2台)



桑名市職員倫理条例の制定に対する質疑

Q 施行日(12月1日)までに全職員に十分に周知徹底できるのか。

A 職員研修や事例集の作成を行い、周知徹底していきたい。

Q 第8条には、禁止行為が明記されるとともに、行うことができない行為も明記されている。ここには禁止行為のみを明記すべきで、必要があれば施行規則に明記すべきと考えるがどうか。

A 第8条第2項は、公務を執行する上で、情報・意見交換などにも必要になる場合があるため設けており、第1項の禁止行為と一体的なものであることから、条例の中に規定している。

Q 第17条には、違反行為があった場合の措置について明記されているが、市としてさらに重くする考え方はなかったのか。

A 職員に対する罰則については、地方公務員法第29条第1項の規定に基づく懲戒処分を行うものである。

桑名市火災予防条例の一部改正に対する質疑

Q 急速充電設備の管理は誰が行うのか。また、その設置状況は。

A 設置者が管理することになる。現在、自動車販売会社と一事業所に設置されている。



■審査案件 委員会開催日：9月18日〔審査件数：4件〕

- 議案第73号 平成24年度桑名市一般会計補正予算(第2号) 第1条 歳入歳出予算中
所管部門(特別委員会所管部門を除く)
- 議案第74号 平成24年度桑名市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第75号 平成24年度桑名市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第81号 桑名市防災会議条例及び桑名市災害対策本部条例の一部改正について



桑名市一般会計補正予算の所管部門に対する質疑

◆防犯灯設置補助金について

Q 節電効果の高いLED防犯灯50灯分の増額補正との説明に対して、全ての防犯灯をLEDに切り替えてもらう方向性なのか。

A 基本的には自治会の判断であるが、窓口対応等ではLEDの説明は十分しており、その中で推進していく考えである。

◆自主防災組織育成事業費について

Q 補助金の最終年度であり、市民の要望を受けての補正予算なのか、また、今後はどうしていくのか。

A この事業は、事業期間を3年とし、自治会の半数での組織設置を目標に進め、ようやく浸透してきたと感じている。今後は、補助内容の見直しが必要であるが、市民の要望も強いこともあり、継続していきたいと考えている。

◆桑名市後期高齢者医療事業

特別会計補正予算に対する質疑

◆一般管理事務費について

Q この予算で、防災型お薬手帳を作成することだが、いつ頃実施されるのか。

A 予算成立次第、薬剤師会、医師会との協議に努め、2月頃には作成して配付したい。



■審査案件 委員会開催日：9月19日、21日〔審査件数：7件〕

- 議案第73号 平成24年度桑名市一般会計補正予算(第2号)第1条 歳入歳出予算中所管部門
- 議案第84号 工事請負契約の締結について((仮称)陽だまりの丘複合施設建設(建築)工事)
- 請願第7号 幼稚園保育料公私間格差是正を求める請願
- 請願第8号 「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実」を求める請願書
- 請願第9号 「『教職員定数改善計画』の着実な実施と教育予算拡充」を求める請願書
- 請願第10号 「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める請願書
- 請願第11号 「防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実」を求める請願書

桑名市一般会計補正予算の所管部門に対する質疑
◆ 農林水産業費について

Q 基盤整備促進事業費増の内訳は何か。

A 野代地区基盤整理事業に1,290万円。また、最終年度にあたる七和地区及び城南地区の補助事業の事業調整経費として100万円。残りは補助事業の事務費となっている。

◆ 請願第7号 幼稚園保育料公私間格差是正を求める請願に対する審査

◆ 私立幼稚園に子どもを通わせる保護者の負担軽減のために、また、その格差是正の最初の一步として、市に対し、私立幼稚園のための保育料の補助金の創設を促されたい。

・ 各園には特徴があり、公私間での格差があるのは当然であり、市内の私立幼稚園が揃ったの請願であり、自由競争から言っても独自性が無くなり、保護者の選択枝が狭められると考える。

・ 補助の金額にもよるが、私立に補助を行うことで公立が減ることが懸念される。

・ 私立と公立に違いがあつて当たり前と考える。

・ 公私間の格差を無くすことによって、保護者の選択枝が広がると考える。

・ 就学前施設の再編に関する答申でも、公私の保護者負担の格差は正に触れられている。

などの意見があり、採決の結果、不採択とした。その他の請願8号から11号の請願については、採決の結果、いずれも採択とした。



■審査案件 委員会開催日：9月19日〔審査件数：3件〕

- 議案第73号 平成24年度桑名市一般会計補正予算(第2号)第1条 歳入歳出予算中 所管部門
- 議案第83号 工事請負契約の締結について(蛸塚益生線道路整備工事(橋梁上部工))
- 議案第86号 市道の認定及び変更について



桑名市一般会計補正予算の所管部門に対する質疑

◆ 住宅リフォーム促進事業費増について

Q これまで、希望者は全員補助を受けられるのか。またその経済効果は。

A 1回目先着100名で、事前相談者から55名漏れている。2回目も先着100名で、事前相談者から40名漏れている。今回の補正500万円とこれまで2回の残額を合わせて、できる限り多く補助したい。経済効果は16倍ほどあつたと推測している。

◆ 桑名駅周辺整備事業費について

Q まちづくり関連業務費増の事業費内容と補助率は。 A 今回の設計には、現駅舎にエレベーターを設置し、耐震補強する調査が含まれ、バリアフリー法の補助率を基準とし、近畿日本鉄道1/3、市2/3。

◆ 市道の認定及び変更について

Q 道路が公園の一部になるが、住人が立ち退くまでは、道路廃止にはしないと聞くが、どのようになるのか。 A 国営公園は今年工事に入り、2、3年後完成と聞いている。工事に入るまでは認定外道路として管理する。国は立ち退きまでは生活に支障のないようにすることと、公園となつても、人は通行でき、緊急時は車両も通行できると聞いている。また、バスが回れる巡回場もある。



■審査案件 委員会開催日：9月26日〔審査件数：2件〕

●議案第73号 平成24年度桑名市一般会計補正予算(第2号)

第1条 歳入歳出予算中 所管部門

●議案第76号 平成24年度桑名市地方独立行政法人桑名市総合医療センター

施設整備等貸付事業特別会計補正予算(第2号)



A 今回の地質調査費用は計画に含まれ、医療機器購入費用は計画に含まれていない。

Q 病院整備計画の総事業費が106億円とされている中、今回計上されている地質調査費用と医療機器購入費用のそれぞれの予算はこの計画に含まれるのか。

**桑名市地方独立行政法人
桑名市総合医療センター施設整備等
貸付事業特別会計補正予算に対する質疑**

A 今回の予算は、一号館用地の四隅と放射線治療装置を設置する予定の場所周辺の計5箇所をボーリング調査するための費用である。総費用は858万9,000円で、そのうち642万9,000円を一般会計からの繰出金、残りの216万円は地域医療再生臨時特例交付金として、地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計に計上している。地質調査では、40メートルを想定してボーリングを行う予定である。

Q この予算の意図するところと地質調査におけるボーリングの深さはどれくらいか。

◆特別会計繰出金について
桑名市一般会計補正予算の所管部門に対する質疑

より見やすく、利用しやすく!

市議会ホームページを立ち上げました!!

11月5日、市議会独自のホームページを立ち上げました。

これまで市議会ホームページは、桑名市のホームページの中に入っておりましたが、より見やすく、より読みやすく、より検索しやすくするため、独立いたしました。

今後も積極的な情報発信に努めますので、ぜひご利用ください。

桑名市議会

検索

クリック!

<http://gikai.city.kuwana.lg.jp>



議会報告会を開催しました!!

10月26日(金)午後7時から、市民会館など市内四ヶ所で議会報告会を開催しました。この報告会は、昨年12月に施行された議会基本条例に基づき実施したもので、今年4月に続いて二回目の開催です。合計94人の市民の皆様にご来場いただき、議会の活動状況や6月・9月定例会における審議状況を報告しました。

市民の皆様からは、桑名市総合医療センターや議員定数など、多くのご質問、ご意見、ご要望をいただきました。

皆様からいただいた貴重なご意見、ご要望は、今後の議会活動の参考にさせていただきます。ご出席いただきました皆様、本当にありがとうございました。

議会報告会の結果内容や参加者の主な意見はホームページに掲載します。

今回は、4月に行う予定です。



議案質疑・一般質問

日本共産党桑名市議団 星野 公平

◆桑名市職員倫理条例の制定について

質疑 禁止行為のなかにどうしてこんなに行うことができる行為があるのか。また禁止行為の例外事項が何故あるのか。条例166行中やってもいい事が27行、贈与等の報告が13行、審査会の設置関係が36行と全部で76行(45.8%)大半の文言が不要となる。

答弁 職務として必要な行為や私的な行為まで制限するものでないため例外となる行為も規定している。

質疑 この条例で目的が達成できると思うのか。

答弁 条例を作ったから、それで職員の意識が高まるとは思っていない。全職員が正しく理解し、正しく運用されなければならない。そのために研修等を実施して周知徹底する。

桑風クラブ・無会派 佐藤 肇

◆平成23年度歳入歳出決算の認定について

質疑 経済誌にも住みよさランキング26位と高評価だが、主な財政分析指標とその所見を。

答弁 ①財政力指数0.897②経常収支比率94.2%③将来負担比率130.5%④実質公債費比率11.1%⑤ラスパイレス指数99.9⑥人口一人当たりの人件費物件費等決算額11万9千円⑦人口千人当たり職員数7.61人であり、本市の財政状況は一層の健全化に向け、引き続き改善が進んでいると考えている。今後も財政の現況を把握し健全運営の推進に努めていく。

◆桑名市職員倫理条例の制定について

質疑 既存の規程を条例化する理由は。

答弁 常に公正な職務の執行に当たることを責務とし、職員倫理を保持し、市民の疑惑や不信を招くことの無いよう実効性を高めるため条例化する。

フォーラム新桑名 伊藤 真人

◆競売入札妨害事件調査報告書について

質問 調査の結果、「個人の倫理観に頼りすぎ、組織的対応が出来ていなかった組織にも問題があった」このことに対し、新たに組織の長として責任が発生したのでは？市長に所見を聞く。

答弁 責任は減給をもってとった。事件の経緯、背景、要因等を分析し、再発防止の為に今後の改善策を提案いただいた。その改善策を管理職が中心となりしっかり取り組むことで責任を果たす。

◆スポーツ振興について

質問 現在、スポーツ施設の予約は旧桑名、長島、多度で現地に行かないと予約が出来ない。スポーツ施設予約システムを統合する考えはあるのか。

答弁 市民サービスの向上を最優先に考え、見直しを検討している。

桑風クラブ・無会派 堀 良二

◆防災対策について

質問 避難場所として伊曾島・北部地域の防災センターの建設について市の考えは。

答弁 現在、長島地区における防災拠点整備基本構想の策定を進めている。長島地区のどの地域に防災拠点を整備していくか検討し、安心して暮らせる地域づくりを目指して取り組んでいく。

◆伊勢大橋架け替え工事の進捗について

質問 伊勢大橋の架け替え工事の進捗状況は。

答弁 現在、漁業組合等の協力を得て調査などが実施されており、地元調整が整い次第、来年度から工事着工されると聞いている。引き続き、地域住民の利便性の向上と防災面からの安全・安心を確保するため、国の道路部局や河川部局に対して、強く要望していく。

希望 伊藤 研司

◆児童虐待ゼロを目指しての施策を！

質問 桑名市では現在、「憩いの広場・キラキラ・子育てキッズ」等多くの事業が実施されている。しかし、パチンコ店駐車場で「乳児虐待死」事件が発生してしまった。更なる、事業の展開を！

答弁 「児童虐待防止講演会」の開催や、11月の児童虐待防止月間に向け「オレンジリボン運動」を推進する。このほか今後、「子供虐待対応ハンドブック」を作成し、児童虐待ゼロ社会を目指していく。

◆伝統産業・鋳物産業の位置づけを！

質問 桑名の伝統産業でもある「鋳物産業」は、本来、雇用創出産業・環境・先端産業である。

答弁 昨年度、「くわな鋳物新商品開発事業」を立ち上げ、試作品として「ごはん釜」が出来上がり、商品化に向けて改良に取り掛かっている。

新自由クラブ 倉田 明子

◆「教育委員会制度」について

質問 教育委員会制度は形骸化しているとの声を聞く。その件に対する教育委員会委員長の所見を問う。

答弁 様々な課題が指摘されているが、住民目線で教育行政の方針を決定するという理念を十分踏まえ、今後も重責を自覚し、職務を遂行していく。

◆中央防災会議が公表した想定について

質問 今回の被害想定は考え得る最悪のケースとして公表されたものであるが、東日本大震災が想定を大きく超えたことを考えると、今から最大の被害を想定する必要がある。市の減災に対する所見を問う。

答弁 震度が6弱から6強へ変更され、建物の崩壊、地震による火災も想定される。堤防、避難場所等ハード面と防災計画見直し等のソフト面両面の整備と共に市民への「自助」の重要性を啓発していきたい。

一般質問

公明党桑名市議員団 畑 紀子

◆いじめ問題について

質問 大津の事件の認識といじめについての見解、当市のいじめ実態とその取り組みについて問う。

答弁 大変痛ましい事件で、どこでもどの子にも起こりうる問題。いじめはいじめた側が100%悪い。いじめには悪口・仲間外れ・無視・暴力などがあり、学校の対応で解決したものと、まだ経過を見守っているものがある。加害児童生徒の自覚指導や謝罪と共に、学級全体で指導を行っていく。また学校として「いじめは許さない」意識づくりを進めていく。

質問 いじめで苦しむ子どもたちのための具体的な対策について問う。

答弁 今後、学校だけでなく福祉や民生児童委員、青少年育成会議等、地域の方々と協力していじめに関する検討委員会を立ち上げ、対応協議していく。

新桑会 大橋 博二

◆喫煙場所とルールについて

質問 市の玄関口である桑名駅周辺には、タバコのポイ捨てが目立ち、喫煙場所が指定されていないことも原因の一つと考える。対策が必要と考えるが。

答弁 煙草の煙の影響を考えると、灰皿等の喫煙場所確保の状況は困難と考えているが、再度、現地の状況を確認し考えていきたい。

◆公園管理と環境・衛生施策について

質問 市内には運動公園ほか207箇所の公園があるが、ペットの排泄物が見られ環境・衛生的にも問題がある。公園内のペット規制条例が必要では。

答弁 公園内に注意喚起の看板を設置し啓発を推進するほか、条例による規制については、状況を勘案し、誰もが気持ちよく安心して利用できる公園であるように取り組んでいきたい。

無会派 小川 満美

◆子ども総合相談センターの職員増員

質問 子ども総合相談センターが平成21年度に開設してから、発達障害の相談件数が毎年5割増しで増えている。発達障害の早期発見、早期支援になるよう臨床心理士を増員するのか。

答弁 現体制を検証し、必要に応じ増員を要望する。

◆固定資産税の課税誤りの返還について

質問 固定資産税の課税誤りについて国家賠償法により20年分返還することを認めた最高裁の判例があるが、桑名市でも固定資産税に課税誤りがあった場合は同様に返還できるようルール化するのか。

答弁 領収書等があれば内規で20年分返還できる。

再質問 固定資産税に限れば継続して住んでいることが滞納していない証明になるのではないのか。

再答弁 他市の状況、法制面を考慮し検討する。

蒼誠会 伊藤 徳宇

◆名古屋圏に埋没しない、栄える桑名、誇れる桑名に

質問 歴史的に見ても地理的優位性を背景に栄えてきた桑名が、現在、日本中の交通網の発達によって、ナガシマリゾート以外は、単に通過されるだけの街に成り下がっている。

桑名の地理的優位性を活かし、求心力を高めるため、ヒト・モノ・カネが集まる拠点として、高速インターチェンジ付近を開発し、集客施設を誘致してはどうか？

答弁 桑名市は観光客の入込客数からしても、単なる通過点ではないと認識している。インターチェンジ周辺は、都市計画マスタープランにおいて生産物流地域と位置づけているが、県の開発許可制度による制限の存在や、地権者の理解も必要なので、慎重に検討しなければならない課題であると考えている。

フォーラム新桑名 愛敬 重之

◆安全・安心なまちづくりについて

質問 桑名市を流れる河川の環境整備について。

答弁 大山田川についても、三重県に対し今後も治水面等からの安全安心、良好な河川の確保、実現可能な方法を提案し、環境整備につとめていく。



▲大山田川

◆快適な都市整備の充実について

質問 養老鉄道の播磨駅周辺の駐輪スペースの環境整備について。

答弁 養老鉄道の播磨駅の場合、現地確認や利用状況・所有関係等調査し養老鉄道と一緒に考えていきたい。



▲播磨駅周辺の環境

桑風クラブ・無会派 岡村 信子

◆医療ボランティアについて

質問 医療ボランティアを根付かせるためには。

答弁 患者さんの闘病生活を支え、地域に根ざした医療を提供するためにボランティアの方に期待される役割は小さいものではない。医療に関するボランティアについて研究するとともに、桑名市総合医療センターに対し、ボランティアの積極的な参加が可能となるよう規程の見直しや施設の整備を進めるという中期計画を確実に実施していくよう求めていく。

◆桑名市総合計画後期基本計画の進捗状況について

質問 平成28年度までの取り組みについて。

答弁 「地域医療対策」、「防災・減災」、「子育て支援」を重点施策として、新病院の建設や避難施設・情報伝達手段の整備、陽だまりの丘複合施設や学童保育所の整備等を進めていく。

一般質問

希望

伊藤 恵一

◆(セシウムだけでない)汚染ガレキ受入拒否宣言を

質問 汚染物質等に対する当市の見識と考えを。

答弁 持込は難しい要素が多いただろうと考えている。

再質問 ストロンチウム・アスベスト・ヒ素等の問題も県に提言を。

再答弁 いずれにしても市民の健康第一に考えている。

◆『低入札価格調査制度』の改正

質問 社屋に『談合しない』との垂れ幕がかかる岐阜市希望社・桑原耕司会長ご指摘の、この制度の対象範囲の拡大を。

答弁 引き続き検証をしていく。

◆次、2050年(福井?)原発爆発?

質問 損保算出の上記リスク対策は?

答弁 いつでも対応可能な対策が重要。



新自由クラブ

平野 和一

◆市政全般について

質問 合併後2期8年の水谷市政の総括を問う!
～長島・多度両町に光は届いているのか?!～

答弁 1期目は長島地区防災コミュニティセンター、消防多度分署整備等、新市の一体感の醸成と地域格差の是正に2期目は長島町下水道、多度大社周辺地区整備等、新市の成熟度を高める諸課題に取り組んだ。今後も一層輝くまちづくりに精一杯取り組む。

質問 伊勢大橋の架け替えと、今後の大規模防災訓練について問う。

答弁 伊勢大橋は耐震性能を確保し、下流側に下流橋、現況の位置に上流橋を施工する。長島地区の災害時避難経路とし、緊急時には一時的に避難することも可能。大規模訓練は市民ニーズを把握し、地域の新たな課題に取り組んだ上で実施を検討していく。

公明党桑名市議員団 竹石 正徳

◆南海トラフ地震の被害想定について

質問 市民の命と財産を守るためには。

答弁 地域と共に減災対策に取り組み、犠牲者がゼロになるよう、周知・啓発をし、防災対策の強化と、地域に根差した取り組みに努めていく。

◆認知症対策について

質問 高齢化で増え続ける認知症への取組について。

答弁 認知症の方が、できる限り住み慣れた自宅で暮らし続け、その家族が安心できる状態に応じた適切なサービスの提供に努めていく。適切なケアマネージメントを行う「地域ケア会議」の開催で、地域で認知症の人に対する包括的な医療・介護サービスの提供を行う。また、現在認知症相談をお願いしている、医療機関との連携を密にして情報収集を行い、認知症に早期対応できる支援体制を整えていく。

新桑会

市野 善隆

◆7月10日に行われた「知事と市長との1対1対談」について

質問 市の課題等は、知事に十分に伝わったのか。

答弁 広域防災拠点施設の検討・スマートエネルギー構想・桑部播磨線の早期完成等を要望した。知事から各要望に関し直接回答を得て、できる限りの協力を確認した。各所管からも県部局へ外向き詳細な説明をした。

◆就学前施設再編検討委員会答申から

質問 公立幼稚園の再編について市民への説明はどのように考えているのか。また、幼稚園再編に特化することなく子育て支援全般の中で検討していくのか。

答弁 答申を受けパブリックコメントを実施する等して平成25年3月を目途に実施計画を策定し、その後、市民への説明が必要と考えている。保護者の声も十分受け止めながら進めていく。

フォーラム新桑名 松田 正美

◆救急・救助体制の充実に向けて ～ドクターカーの導入について～

質問 救急・救助体制の現状と課題について、桑名市消防本部管内の救命率と社会復帰率が、全国平均を下回っている現状を踏まえ、救命率などの向上に向けた取り組みを問う。

答弁 救急救命士の養成に努めるとともに、救急隊員の教育研修の充実を図っていく。

質問 ドクターカー(医師が直接救急車に乗り傷病者がいる現場まで出向くシステム)の導入は?

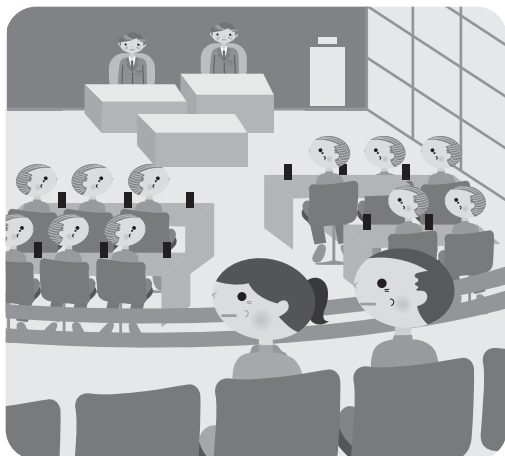
答弁 医療のワークステーション(病院内に消防の救急隊員を配置して、医師と共に現場へ向かうための施設)について、医師の確保等の問題もあるが、桑名市としても目指しており、前向きに検討したい。

日本共産党桑名市議員団 石田 正子

◆環境問題・産業廃棄物不法投棄対策について

質問 五反田・源十郎新田事案の進捗と今後の対処

答弁 五反田事案は平成7・8年ごろジクロロメタンなどの有害物質が検出。14年度に汚染拡散防止の為に遮水壁を設置し15年から19年まで遮水壁内外の地下水洗浄が行われている。21年度に1.4ジオキサンが高濃度で検出。県が技術専門委員会を立ち上げ検討。掘削撤去し揚水浄化を行なう計画を策定した。源十郎新田事案は、平成19年度員弁川と藤川の合流付近の旧産廃処分場近傍の河川敷で油の流出が確認され、22年高濃度のPCBが検出された。将来河川、周囲地下水にPCBの流出の恐れがあるため廃棄物を除去してPCBの回収等をしていく計画。員弁川は上水道の重要水源であることから特別措置法延長に伴い、全量撤去を県に引き続き要望する。



一般質問

希望

倉本 崇弘

◆脱原発：市民ファンドによる太陽光発電の普及について

質問 私の試算では太陽光のみで市内で必要とされる電力の大半を賄うことが可能。市民ファンドを用いれば財源の心配もない。

答弁 15%ほどの電力は賄えると市でも想定をしている。屋根貸しや農地での利用も検討をしていく。市民ファンドは市としては側面支援を行っていきたいと考えている。

◆中学生卒業までの医療費の窓口全面無料化について

質問 子育て支援の意味からも中学生卒業までの医療費の窓口全面無料化を推進していくべき。

答弁 全ての福祉医療費助成を含めて慎重に検討する必要がある。

◎市長に対し、各委員会の政策提言を行いました!!

10月19日、政策提言を行いました。

これは、閉会中の委員会活動の一環として所管事務調査を実施し、その調査結果をまとめ、政策推進並びに事務事業執行の参考とされるよう市長に提言するもので、今回で6回目になります。調査研究報告書の全文はホームページをご覧ください。



総務政策委員会

◇公共施設マネジメントについて

- 本市の公共施設を取り巻く実態をとりまとめた公共施設白書を作成し、公表されるとともに、保有する公共施設を一体的に管理できる組織体制を整備されたい。
- また、市民の意見等を取り入れながら、統廃合や機能転換なども含めた公共施設の適正な配置と効率的な管理運営の実現に取り組まれたい。



◇予算関係資料・予算説明について

- 今後の事業予算の見通しや積算根拠等を明記した当初予算参考資料の作成など、予算関係資料の更なる充実を図られるとともに、市民との協働によるまちづくりを更に進めるため、先進事例を調査研究し、個別の冊子化を含め、よりわかりやすい予算概要説明資料の作成や、ホームページ上に公表している予算・予算編成過程等を含めた財政情報内容の更なる充実にも努められたい。



福祉安全委員会

◇子育て支援施設について

- 子育て支援施設を整備するに当たっては、土と水と緑を意識した、自然を感じられる施設となるよう配慮され、その運営に関しては、市民がそのライフスタイルに合わせ選択できるような多様な形態を持つとともに、市民が求める支援の把握に努め、需要にあった施策を展開されたい。



◇防災力向上について

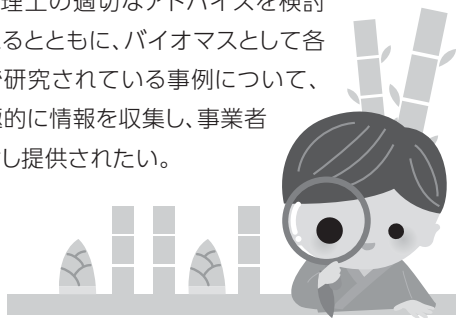
- 桑名市に合った避難所運営手法の検討・整備を行なうとともに、避難所運営においては、運営組織、特にリーダーの役割が重要であるので、リーダーと成りえる方への支援を強化されたい。また、自主防災組織設立時の支援などの予算措置については、特段の配慮をなされたい。



教育経済委員会

◇竹の活用について

- 環境破壊につながらないよう、竹林の所有者に対し管理上の適切なアドバイスを検討されるとともに、バイオマスとして各地で研究されている事例について、積極的に情報を収集し、事業者に対し提供されたい。



◇学校再編について

- これからの少子化に対応した新たな学校教育の方向を示し、課題の解決に向けた取り組みとして、市独自の再編に関するビジョンの策定や、児童・生徒にとって最適な教育環境とは何かを明確にし、教育委員会委員と教育委員会事務局が地域住民と一緒に小・中学校統廃合問題を考え、実施計画の策定についてもあわせて検討されたい。



建設水道委員会

◇空き家対策について(まちづくり、景観の観点から)

- 放置された空き家については、防災、防犯上の妨げとなるうえ、景観上も好ましくないで、「空き家等の適正管理に関する条例」を制定した上で、空き家の実態調査をされ、今後の施策の方向性を部局横断的に検討されたい。また、空き家情報バンクについても検討され、県内で統一に行うことの働きかけも検討されたい。



◇水道事業の民間委託について

- 経営計画では平成25年度には5.5%増の料金改定を実施し、市民に負担を求めることとなるため、取水・浄水施設に関する業務を委託することなど更なる経費の削減に取り組まれたい。また、熟練職員が退職を迎える中、人材育成を含め、管理・監督体制を整備され、「命の水」であることに鑑み、市と民間の活力を合わせて、安全性、継続性、経済性が担保されるよう留意されたい。



桑名市議会からのお知らせ

12月定例会の開催日程

12月定例会の開催日程は、12月2日(日)に市長選挙及び市議補選が執行予定のため、未定です。
日程は決定次第、市議会のホームページでお知らせします。

傍聴してみませんか

本会議や各常任委員会、特別委員会などの会議は傍聴できます。
日程は市議会のホームページに掲載します。ただし、日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局にご確認のうえ、お気軽にお越しください。



インターネット録画中継

より多くの方に本会議をご覧いただくために、インターネット録画中継を実施しています。
傍聴に来ることができない方でも、インターネットにより本会議(代表質疑・議案質疑・一般質問)の様子を録画中継で見ることができますので、ぜひご覧ください。



会派異動のお知らせ

10月3日、伊藤徳宇が議員辞職し、会派「蒼誠会」の解散届が提出されました。この結果、「蒼誠会」所属の辻内裕也は無会派となりました。

テレビ中継のお知らせ

本会議の議案質疑・一般質問をケーブルテレビで生放送します。ぜひご覧ください。

対象地区	チャンネル	放送時間
桑名地区	地上デジタル121ch	午前10時から
多度地区	地上デジタル122ch(サブチャンネル)	
長島地区	地上デジタル123ch(サブチャンネル)	

※サブチャンネルでご覧いただくには、リモコンの数字ボタン②を押し、チャンネル(選局)ボタンの上方向を1回または2回押して下さい。



議会活動状況報告

※定例議会中の定例議会にかかる会議は省略しています

8月

- 3日 決算運営委員会、議会改革検討会中間答申
- 7日 総務政策委員会、福祉安全委員会、建設水道委員会
- 8日、9日 議会運営委員会視察(静岡県富士市、藤枝市)
- 10日 広報広聴委員会、北勢5議会合同研修会
- 19日 子ども議会
- 20日 教育経済委員会
- 21日 建設水道委員会
- 22日 全員協議会
- 27日 全員協議会、新病院の整備等に関する特別委員会視察(三重大学病院)
- 28日 桑名・員弁広域連合議会、桑名広域清掃事業組合議会
- 29日 総務政策委員会、各派代表者会議、議会運営委員会

9月

- 3日 教育経済委員会協議会・委員会
- 4日 決算運営委員会
- 5日 9月定例会(閉会10月2日)
- 6日 広報広聴委員会
- 25日 議会報告会班長会議

10月

- 2日 決算事業評価結果を市長へ報告
- 3日 議員提出議案意見書を県知事へ提出
- 17日 広報広聴委員会
- 18日 各派代表者会議、議会報告会班長会議、議会報告会班別会議、建設水道委員会協議会・委員会
- 19日 常任委員長会議、各委員会政策提言
- 22日 第66回北勢5市議会懇話会
- 24日 東海市議会議長会理事会
- 25日 議会改革検討会
- 26日 広報広聴委員会、議会報告会
- 29日 新病院の整備等に関する特別委員会、全国高速自動車道市議会協議会理事会

広報広聴委員会
委員長 渡邊 清司
副委員長 伊藤 文平
委員 伊藤 公一、伊藤 恵一、小川 満、市川 善美、倉野 明子、畑 紀子、愛敬 重之

市野委員長が都合により、委員長職を辞任しました。また、渡邊清司が広報広聴委員会に加入し、委員長に就任。辞職した伊藤副委員長の後任には、愛敬重之が就任しました。12月に役員改選があるので、このメンバーで発行するのは最後となります。応援ありがとうございました。

編集後記

皆様のご意見をお寄せください

市議会や市議会だよりに対するご意見、ご要望等がございましたら、議会事務局までお寄せください。

桑名市議会事務局

〒511-8601 桑名市中央町二丁目37番地
電話: 0594-24-1304 / 0594-24-1305
FAX: 0594-24-1359
メールアドレス: gikaijm@city.kuwana.lg.jp

お問い合わせ

市議会の詳しい情報は桑名市議会のホームページをご覧ください。

桑名市議会

検索